

北イタリア安全対策情報

2021年4月～6月

1 治安情勢

- (1) 北イタリアでは、Covid19による入国制限措置が一部緩和されつつありますが、日本人観光客等が依然として少ない状況が続いています。
5月にはイタリア北部ピエモンテ州において、山頂ロープウェイが落下し、死者14名負傷者1名の事故が発生しました。
また、ミラノ市内では週末深夜にコモ大通り周辺で酔っ払い等を狙った強盗が多発するなど、今後、人出の増加に伴う犯罪や、事故の増加が懸念されます。
外出の際は、時間帯・場所等に十分留意ください。
- (2) イタリア国内でテロの発生及び未遂事案はありませんでした。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

- (1) 置き引き 1件（参考：1月から3月は0件）
6月下旬午前7時頃、ミラノ市内ウンブリア通り付近において、日本人女性が目を離した際にスーツケースを窃取されました。
- (2) ひったくり 1件（同：0件）
5月下旬午前7時頃、ミラノ市内ウンブリア通り付近において、日本人女性が所持していたスマートフォンを黒人男性1名に奪取されました。
- (3) 詐欺 2件（同：0件）
ア 4月上旬、ミラノ市内において、日本人男性が商品取引の代金としてユーロで現金を受け取りましたが、偽造通貨であることが判明しました。
イ 6月上旬、午後1時頃、ミラノ市内において、日本人男性が商品取引の代金としてユーロで現金を受け取りましたが、偽造通貨であることが判明しました。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

- 日本人以外の被害が発生した事件の一例は、以下のとおりです。
- (1) 5月下旬、ミラノ市内のサッカー場において、サッカー観戦の応援から口論となり、何者かによりペルー人男性（38歳）がナイフで刺殺され、後日警察の捜査によりペルー人6人が逮捕されました。
- (2) 6月下旬、ボローニャ市の公園において、イタリア人男性（16歳）により、イタリア人女性（16歳）がナイフで刺殺されました。犯人は警察により逮捕されました。

4 テロ・爆弾事件発生状況 特になし

5 誘拐・脅迫事件発生状況 特になし

6 対日感情の変化 特になし

7 日本企業の安全に関する諸問題 特になし